

議会ウォッチ

43号

2016年1月

平成28年1月15日発行



ココに注目!

議会報告会 《東峰見聞録》

P2

ここが聞きたい! 《一般質問》

P4

12月定例会トピックス

P9

議会報告会

開かれた議会 東峰村のこれから

11月16日～11月20日の期間で各地区の公民館等で議会報告会を各開催しました。各会場での質疑、意見の一部を紹介いたします。

いただいたご意見を参考に、政策立案等に役立てていきたいと考えております。



ふるさと納税

- ・もう少し魅力的な返礼品を増やせないのか。
- ・PRの努力をしているのか。

議会から 担当課にPRも含めて、返礼品の種類や内容の改善を行うように要請している。

ライスセンター

- ・運営母体は決まったのか。
- ・稼働はいつからか。

議会から 平成28年9月稼働予定。運営母体はライスセンター建設委員会にて平成28年5月に農業法人設立の方向で協議してる。



公共用地活用 (小学校、小石原庁舎)

- ・小石原庁舎の活用をもっと考えてはどうか。
- ・旧宝珠山小学校の活用は検討されているのか。

議会から 小石原庁舎の活用はこれからの検討課題である。旧宝珠山小学校は企業から提案があり、説明を受けているが、まだ進展していない。

地域おこし協力隊

- ・どんな活動をしているのか。
- ・3年後はどうなるのか。

議会から 議会だよりでも広報したがまだPR不足なので、活動を知ってもらえるように周知を促していきたい。定住してもらえるように促していきたい。



国県道の改良は

- ・国、県に陳情を行っているのか。
- ・観光客の回遊のために歩道設置を推進できないか (国道211号)

議会から 村の期成会の活動強化を進め、議会としても陳情活動を行っていききたい。

農業振興基金

- ・現在の状況は。

議会から 産業建設常任委員会で国、県の補助金を活用した事業を担当課に再度調査をさせている。

定住促進

- ・企業の社宅を村に作ってはどうか。
- ・村外に住んでいる職員が多いのは問題では。

議会から 人口減少は村の課題であり、将来世代への負担も考え、今後も議論が必要と考える。



東峰テレビ

- ・画質、内容が悪い。カタカナ文字が多い。
- ・追走番組はいらぬ。何のための村のテレビか。
- ・運営体制は (事業費、人数)。

議会から 担当課を通して要望を行い、よりよい運営がなされるよう注視していく。

ここが聞きたい!

一般質問

1. 高橋 弘展 議員
ふるさと村の菓子委託生産の損失は
2. 梶原 光春 議員
JR沿線の伐採と景観整備の進捗は
3. 長澤 貞義 議員
小石原公民館図書室の移転理由は
4. 伊藤 均 議員
指定管理制度の概要は
5. 佐々木 紀嘉 議員
ごみ出し困難者に対策が必要では
6. 梶原 文明 議員
国道道の危険箇所改良は
7. 高倉 寛視 議員
一人暮らし高齢者の見守りは
8. 柳瀬 弘光 議員
生活支援者へのニーズ調査は行えないか



高橋弘展 議員

ふるさと村の菓子委託生産の損失は
— 村長 約2千万円弱がある

議員 ふるさと村の菓子委託生産とは、どのような事業だったか。

村長 マフィンを委託生産し納入する事業。月々約7万円しか利益はないが、補助事業により2人の雇用ができることもあり取り組んだ。26年7月から27年1月まで納入していた。

議員 この事業において損失が出ているが、その経緯と金額は。

村長 27年3月23日の取締役会で発覚した。委託元が大阪の梅田店進出により経営難となった。委託元に出資した約2千万円弱がある。

議員 どのように解決していくのか。

村長 弁護士の助言を得て、会社と元専務の責任として負担する金額を、仕分けできたと思う。



マフィンはコレ

議員 代表取締役社長として委託元の事前調査は行わなかったのか。

村長 登記簿の謄本や委託元の決算書、納税証明は確認していない。

議員 会社としての損失の責任は。

村長 代表取締役社長として、善管注意義務が発生すると思う。私個人的には責任を取りたい。



梶原光春 議員

JR沿線の伐採と景観整備の進捗は
— 村長 JRとの協議を現在行っている

議員 JR沿線の景観整備の進捗状況は。

村長 立木の伐採承諾は一部を除いて得られている。JRとの工事協議を現在行っている。

議員 村内の浄化槽の設置状況は。

村長 小石原地区が134基で46%、宝珠山地区は227基で50%の設置状況である。更なる普及に努めたい。

議員 岩屋公園周辺の整備状況は。

村長 一部の杉等の伐採は行ったが、地域の方が言われるような整備は、まだ一歩も進んでいない状態。地域の方々と協議し、整備計画を図っていききたい。

議員 宝珠山ふるさと村の累積赤字額と、今後の再建計画は。

村長 11年間の累積赤字は約4400万円。今後は社団法人化を視野に検討中。

議員 活性化住宅の入居募集の時期は。また、村内出身者を優先的に入居できる考えは。

村長 1月中旬より募集は行う予定。Uターン者が応募した場合は、選考時に点数制で加点を設けている。



整備後に期待



長澤貞義 議員

小石原公民館図書室の移転理由は
— 教育長 担当者が業務等で不在になるため

議員 小石原公民館の図書室が小石原庁舎の玄関に移動しているが、その理由は。

教育長 社会教育指導員を一人配置しているが、公民館の事務も兼ねているので、不在になることもある。現在の場所は、不在の時に他の職員が対応できるので移動した。

議員 小石原公民館の図書室が、また、利用できるような案内しているのか。

村長 看板は立てている。

議員 道の駅駐車場の拡張が計画されているが、駐在所を移転すれば、建て替え費用を村が全面負担する事になるのでは。

村長 駐在所の移転(新築)費用は、全額村の負担になるが、県に貸し出す形(貸家)となる。

議員 道の駅駐車場の拡張が計画されているが、駐在所を移転すれば、建て替え費用を村が全面負担する事になるのでは。

議員 代表取締役社長として委託元の事前調査は行わなかったのか。

村長 登記簿の謄本や委託元の決算書、納税証明は確認していない。

議員 道の駅駐車場の拡張が計画されているが、駐在所を移転すれば、建て替え費用を村が全面負担する事になるのでは。

議員 代表取締役社長として委託元の事前調査は行わなかったのか。

村長 登記簿の謄本や委託元の決算書、納税証明は確認していない。

議員 道の駅駐車場の拡張が計画されているが、駐在所を移転すれば、建て替え費用を村が全面負担する事になるのでは。

議員 代表取締役社長として委託元の事前調査は行わなかったのか。

村長 登記簿の謄本や委託元の決算書、納税証明は確認していない。

議員 小石原庁舎の駐車場を道の駅の駐車場として利用している



拡張の必要性は?



伊藤 均 議員

指定管理制度の概要は ――企画政策課長 施設を効率的に管理する制度

議員 指定管理制度の目的は、**企画政策課長** 民間の能力を活用し、住民サービスの向上と経費削減を図ることを目的としている。

議員 現在の指定管理施設と指定管理団体数は、

企画政策課長 指定管理施設は12施設で、指定管理団体は8団体。

議員 施設での指定管理者の指定手続きは公募となっているが現状は、

企画政策課長 公募にならない指定管理者(指定管理条例6条)を含めて全施設非公募です。

村長 全施設非公募であれば競争原理が働かないので、協議していきたい。

議員 指定管理契約における指定管理料算出基準は、

村長 各施設での算出根拠はわ

からなかったため、昨年度収入と支出の一覧表にて、統一基準を出した。

議員 必要経費算出の中で、人件費が高いのでは、

企画政策課長 施設の現状を見ながら一人当たり600万円が上限と捉え算出した。

議員 指定管理料見直しで管理料が上がっているが、今後も上げるのか。

村長 再度見直しを行い、来年度の予算計上を実施する。



指定管理料は適正か



梶原 文明 議員

国道の危険箇所改良は ――村長 期成会で国・県に要望している

議員 国道211号線の宝ヶ谷から鶴の中間のカーブで、道路と歩道間の防護フェンスの延長は出来なないか。特に冬場の事故が多いので対策は、

村長 カーブがきついので、県土事務所と関係省庁へ要望していきたい。

断歩道の信号も見にくい。また、連休時は、杷木インターへの右折車両にて長い渋滞が起きている。対策は、

村長 この信号については、右折レーンを作れないか、視距改良の面から対応をしていきたい。県土事務所と巡回車両の対応も折衝していく。



キケン! 事故多発地点



佐々木 紀嘉 議員

ごみ出し困難者に対する対策が必要では ――村長 ニーズに応えるよう検討する

議員 集積場へのごみ出しが困難な方がいる。高齢者、障がい者、身障者への可燃ごみ・資源ごみ回収対策が必要と思うが村長の考えはどうか。

村長 社会福祉協議会が実施している村単独の生活管理事業と介護保険の家事支援事業で、12名の方がごみ出しの支援を受けている。支援を受けられない方もいると思われるので、調査をしてニーズに応えられるよう、制度を検討していく。

議員 ごみ出し困難者救済は、行政対応で解消される。また、歳を取っても住み慣れた地域で安心して生活するためには、住民同士が「お互い様」の考えで支えあう地域づくりが必要と思うが村長の考えはどうか。

村長 健康で安心・安全で暮らせるのが一番の根本だと思っており、誰もが暮らしやすい地域づくり、村づくりを行う必要があると思っている。



ごみ出しも大変です



高倉 寛規 議員

一人暮らし高齢者の見守りは ――保健福祉課長 社会福祉協議会とともに対応

議員 各家庭で介護を必要としている夫婦や、子供が親を、親が子供を介護している方はたいへん気苦労されている。行政としてこういった方々をどう見守っていくのか。

保健福祉課長 在宅介護については2つの事業を行っている。

1. 寝たきり老人等介護手当要介護5の方を常時自宅で見守っている人に月額1万円支給)
2. 在宅介護支援事業(在宅要介護の高齢者への紙おむつの給付サービス)

議員 在宅介護事業を村民へだけ知らせているのか。
保健福祉課長 広報等が足りなかったと反省している。



住民サービス向上を

12月定例会トピックス

平成27年度12月定例会は12月9日から15日までの会期で開催しました。

条例の制定及び一部改正3件、27年度一般会計補正予算1件、その他1件、請願1件、を慎重審議し、原案どおり可決しました。また、8人の議員が一般質問を行いました。

東峰村定住促進住宅条例制定 28年1月より 入居者募集

26年9月定例会で一般会計補正予算に計上された住宅整備事業については、執行部と議会とで継続協議することと議決。

昨年8月の全員協議会にて承認し、大字福井地区に住宅建設中である。今回、定住促進住宅条例を制定したことにより若者の移住・定住の推進、学童・児童数の増加など過疎地域の活性化を目的として、本年1月より募集が始まる。

今回の定住促進住宅では、入居者の選定において選考基準が適用され、基準内容に応じた点数により、選考し決定する。

また、入居手続きにおいて連帯保証人は廃止し家賃債務保証業者と家賃債務保証契約を締結することとしている。



定住促進住宅(単身者向け)



定住促進住宅(家族向け)

名称	所在地	棟	1戸あたりの定員
小松団地	東峰村大字福井1685番地の2	A棟	3名以上
		B棟	3名以上
		C棟	2名以下

議員 高齢者が住み慣れた地域で生活を維持していくために、地域支援事業や在宅介護支援の充実が重要である。生活支援を必要とする調査は行えないか。

村長 高齢者の方々のニーズ調査を行いたい。

議員 高齢者福祉計画及び介護保険事業計画で在宅介護支援の推進を掲げているが、負担を軽減するために現在どのような支援を行っているか。

保健福祉課長 村が直接行っている事業は在宅介護支援事業、寝たきり老人等介護手当の2つである。また、社会福祉協議会に7つの介護予防事業を委託している。



柳瀬弘光 議員

生活支援者へのニーズ調査は行えないか
——村長 高齢者へのアンケート調査を行いたい



地域包括ケアシステムとは
高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援の目的のもとで、可能な限り住み慣れた地域で生活を継続することができるような包括的な支援・サービス提供体制のこと。

議員 2025年をめどに厚生労働省が推進している地域包括ケアシステムの進捗状況は。

保健福祉課長 地域包括ケアシステムについては現在進めている。第6期を迎えている高齢者福祉計画及び介護保健事業計画の策定、実施を通じて今後、地域包括ケアシステムの構築を図っていきたい。

12月定例会議決結果一覧表

賛成：○ 反対：●

議案番号	採決議案	長澤貞義	佐々木紀嘉	高倉寛規	梶原文明	高橋弘展	黒川隆康	梶原光春	伊藤均	柳瀬弘光
46	東峰村行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の制定について（マイナンバーに関する条例）	○	○	○	○	○	○	○	○	○
47	東峰村定住促進住宅条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○
48	東峰村税条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○
49	平成27年度東峰村一般会計歳入歳出補正予算（第3号）について	○	○	○	○	○	○	○	○	○
50	甘木・朝倉広域市町村圏事務組合の共同処理する事務の変更及び甘木・朝倉広域市町村圏事務組合同規約の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○
51	甘木・朝倉広域市町村圏事務組合の共同処理する事務の変更及び甘木・朝倉広域市町村圏事務組合同規約の変更に伴う財産処分について	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願3	TPP（環太平洋連携協定）に関する請願書	○	○	○	○	○	○	○	○	○

教育・福祉環境充実のため 実施している施策

教育

① 無料「村塾」の運営

村が村塾の運営を全額負担をして英会話、書道教室を開催。

② 保育料の無料化

平成22年から少子化対策として保育料を無料にしている。

③ 国際化に対応した英語教育の充実と海外研修

北山村は生徒数が少ない事をメリットだと考え、一人一人の生徒に寄り添い授業を行っている。特に国際化に対応した英語教育の充実と海外研修に力をいれており、中学3年生で英検準2級を取得し(英検を受ける費用は村が全額負担)英語力が向上している。

海外研修は費用を村が90%以上負担し、ALTの協力や日本のYMCA(語学学校)のスタッフ・研修先のスタッフ・学校の協力で行っている
語学研修先：アイルランド、アメリカフロリダ州、シンガポール

福祉

脳ドック、1日人間ドックの助成

- ・個人負担 1日人間ドックは10,000円
 - ・脳ドックは5,000円～助成 限度額20,000円を除いた額
- 北山村では充実した福祉サービスを行っており安心した暮らしを目指している。



10月27日～29日に
かけて和歌山県北山
村にて視察研修を行
いました。
紀伊半島の中央部
に位置し日本で唯一
の「飛び地」の村で隣
接する町や村はすべ
て三重県、奈良県。

和歌山県 北山村

面積 48.20km²
森林面積 97%
世帯数 270世帯
人口 464人
(27年10月1日現在)

和歌山県北山村

行政視察報告

人口が少なくても村は躍動 464人の和歌山県北山村の秘訣

観光産業振興

軸のぶれない地域資源の活かし方

村に1本だけ自生していた柑橘類の「じゃばら」を特産品化。低迷期が続き、最後の挑戦で楽天市場へ出店。「花粉症に効く」との感想に着目し、じゃばらのモニター調査結果をインターネット上で公開したところ、売上が飛躍的に伸びている。

今後、東峰村役場も民間企業の感覚と発想で様々な事業を展開していく必要があるのでは。



じゃばら農園

住民生活を支援する

村営コンビニが住民生活を支える

個人商店の廃業等により、高齢者の買い物が困難となるため村営のコンビニ設置を行った。スーパーマーケット方式では生鮮品等でロスが出やすく黒字化は難しいが、コンビニにすることで仕入ロスが下がり黒字で運営している。また、観光客の利便性向上にも一役買っている。

今後東峰村でもコンビニ設置を検討する必要があるのでは。

全国議会広報研修会

10月20日～21日 — 東京・砂防会館 —

「伝える広報から伝わる広報へ」思わず手にとる・読みたくな
る議会だよりを目指して「優良議
会広報クリニク」と題して各講
師が全国の広報紙の事例を踏ま
えながらお話がありました。

全国的に議会広報紙という
どうしても住民の方の目線では
内容が難しいというイメージで、
思わず手にとりたくなくなる広報紙
ではないようです。多くの住民
の方に思わず手にとって読みた
くなるよう広報委員会企画を

ただいま勉強中



練り、文字・写真・図を用い関
心が高まるように企画を作る事
が重要だと感じました。

今後とも議会ウオッチが多く
の住民の方が手にとり、読みたく
なるような議会広報紙へ向け、内
容の充実と表現方法の工夫を行
っていきます。



ご意見やご感想をください！

東峰村議会では皆様からのご意見・ご感想を募集しています。



問合せ先 議会事務局

電話 72-2311 FAX 72-2038

編集後記

あけまして

おめでとうございます

新年を迎え、皆様いかがお
過ごしでしょうか。

去年は、見やすく、解りや
すい「議会だより」づくりに
取り組んでまいりました。

本年も、皆様に親しまれる
議会広報紙をめざし、広報委
員一同、一層努力してまいり
ますので、皆様のご意見ご感
想等を頂ければ幸いです。

本年もどうぞよろしくお願
いいたします。

議会広報特別委員 委員長	高橋 弘展
副委員長	黒川 隆康
委員	長澤 貞義
委員	伊藤 均
委員	柳瀬 弘光
発行責任者	大蔵 久徳